

昭和二十四年六月一日 運輸省特別扱承認雑誌第百五十三號
大正五年四月六日第三種郵便物認可 昭和二十五年一月二十五日印刷納本 (毎月一回一日發行)

哲 學 研 究

第 三 十 三 卷 第 九 冊

第 三 百 九 十 號

昭 和 二 十 五 年 二 月 一 日 發 行

教 養 と 有 用 …… 文 學 士 前 田 博

——ゲーテの教育思想——

アリストテレス存在論の基礎構造について(承前) …… 文 學 士 岡 野 留 次 郎

歴史哲學の問題(承前) …… 文 學 士 大 西 友 太

京 都 大 學 文 學 部 內 部
京 都 哲 學 會

京都哲學會規則

- 第一條 本會ヲ京都哲學會ト稱ス
- 第二條 本會ハ廣義ニ於ケル哲學ノ研究及其ノ普及ヲ以テ目的トス
- 第三條 本會ハ前條ノ目的ヲ達センガ爲メ左ノ事業ヲ行フ
- 一 毎月一回研究會ヲ開ク
 - 一 毎年公開講演會ヲ開ク
 - 一 毎月一回『哲學研究』ヲ發行ス
- 第四條 本會ノ事務所ヲ京都大學文學部内ニ置ク
- 第五條 本會ノ事業ヲ經營スル爲メニ左ノ役員ヲ置ク
- 一 委員(若干名)京都大學文學部哲學科教官及委員會ニ於テ推薦シタル者ヲ以テ之ニ充ツ
 - 一 書記(一名)委員會ニ於テ囑託ス
- 第六條 本會ノ趣旨ニ賛同スル者ハ何人ニテモ會員タルコトヲ得、學校、圖書館、教育會、其ノ他團體ハ其團體ノ名ヲ以テ入會スルコトヲ得
- 第七條 會員ハ會費トシテ年五百四十圓、前後二期ニ分テテ前納スルコトヲ得
- 第八條 會員ハ本會ノ諸種ノ會合ニ出席スルコトヲ得、且ツ雜誌『哲學研究』ノ配布ヲ受ク
- 第九條 本會規則ノ改正變更ハ委員會ノ決議ニ依ル

京都哲學會役員

委員

文學博士	有賀鐵太郎
文學博士	白井二尙
文學士	上野照夫
文學士	小田武
文學士	重澤俊郎
文學博士	下程勇吉
文學博士	島芳夫
文學士	關原太郎
文學士	高田三郎
文學士	武内義範
文學士	田中美知太郎
文學士	野田又夫
文學士	松尾義海
文學博士	矢田部達郎
文學博士	山内得立
文學博士	井島勉

解し難いと思はれる。かやうな論理的な關係から、この種の範疇が演繹されたのではない。只かやうな範疇が一旦打立てられた場合に、そこにこのやうな論理的關係が見出されると云ふに過ぎないのである。何故に分量や性質が、何故に能働や受働が、何故に「何處」や「何時」が、何故に關係や状態や所有が正しく範疇として打立てられねばならないのであるかは更に深い存在論的な理由がなければならぬのである。我々は、かやうな理由を、個別的・現實的實有が、世界環境内に於て、自己を他の同様な個別的存在主體から區別し、これとの、又世界環境一般との動的聯關に於て、自己を存在論的に限定する現實的事態の中に求めようとし、これをウシアの主語的範疇に於て實證しようとするのであるが、次に我々は、ウシア以外の範疇に於ても、同様のことが實證し得らるかを試みて見よう。(未完)

註(1) Top. A 9. 103b. 20-23; Cat. 4. 1b. 25-27.

(2) Analyt. post. A 22. 83a. 21-22; 83b. 16-17.

(3) Brentano, op. cit. S. 177.

前 號 自 次

アリストテレースに於ける文學士
の知性の構造 安藤 孝行

思辨論理の可能性に
就いて(承前) …… 文學士 山本 清幸

墟部屋への幻想(完) …… 伊 禮 正雄

「デカルトに於ける經驗と理論」

會 告

- 一 本會へ入會希望者へ京都市左京區田中西浦町弘文堂内京都哲學會係宛ニ規定ノ會費(前表紙裏ニアリ)ニ送料ヲ加算シ御納付ノ上御申込被下度候
- 一 會員ノ轉居入退會等(編集事務以外ノ一切)ノ事務ハ弘文堂内京都哲學會係へ御通知被下度候
- 一 會費へ「振替口座京都一九五五六番 京都哲學會」宛ニ御拂込被下度候
- 一 前金切レノ場合ハ帶封ニ「前金切」ノ印章捺捺致スベキニ付直ニ御拂込下サレ度候
- 一 本誌ノ編集ニ關スル通信及紹介・新刊書・寄贈雜誌等ハ凡テ本會宛ニ御發送被下度候

京都大學
文學部内
京 都 哲 學 會

註 文 規 定

- 一 會員にあらざる購讀者の御注文及び廣告に關する件は「弘文堂」へ御申込下され度候
- 一 本誌の御注文はすべて代金郵稅共前金にて御送り下され度候
- 一 特に請求書及び領收書等を要する場合は郵券八圓御送付下され度候

昭和二十五年一月廿五日印刷納本
昭和二十五年二月一日發行

編 集 人 京 都 哲 學 會
京 都 大 學 文 學 部 内

右 代 表 者

小 田 武

發 行 人 久 保 井 理 津 男
東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 區 四 丁 四

印 刷 人 鈴 鹿 幸 保
京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

印 刷 所 弘 文 堂 印 刷 部
京 都 市 田 中 西 浦 町 四 〇

發 行 所 株 式 弘 文 堂
東 京 都 千 代 田 神 田 駿 河 區 四 丁 四

價 定		冊 數	定 價	郵 稅
一 冊	冊	四十五圓	金三圓	
六冊(前金)	冊	二百七十圓	金十八圓	
三冊(前金)	冊	五百四十圓	金三十六圓	

(誌代の變更による會費の過不足は半年又は一年毎に精算いたします)

アテネ新書

上製本
B 6 送料各二五圓

新刊

現代哲學 高坂正顯 豫一八〇圓
 中國の革命思想 小島祐馬 豫一五〇圓
 カトリシズム Mダシー 豫二二〇圓
 岩波文藝社

既刊

ニヒリズム 西谷啓治 一八〇圓
 量子力學的世界像 朝永振一郎 一三〇圓
 ウェーバーとマルクス カール・レーゼト 柴田・駒・安藤譯 一三〇圓
 ドイツ共産黨史 猪木正道 一四〇圓
 セザンヌ以後 植田壽藏 一五〇圓
 サルトルとマルセル R.トワソワサントニス 安井源治譯 一五〇圓

續刊

哲學概説 高山岩男
 近世科學史 矢島祐利
 二十世紀の神學 北森嘉藏
 西歐文化の危機 ローグンドルフ

新刊 (百發紀念叢書しかり添付)

社會科學への道 高島善哉
 人間の探求 長與善郎
 ノーベル賞 白井俊明
 共産黨をめぐる人々 荒畑寒村
 レイイ沖海戦 小柳富次
 科學と技術 和辻春樹
 自由と獨裁 ツワイク
 藝術とはなにか 井島勉
 プランキ主義と 對馬忠行
 マルクス主義と 梅本克己
 唯物論入門 ルネ・グルッセ
 新ヒューマニズム 宮本正清譯

既刊

日本の政治家 山浦貫一
 西田哲學 務臺理作
 東京の木質宿 幸徳秋水
 自然辯證法入門 原光雄
 人間の哀しみ 天野貞祐
 一チエ 高坂正顯

アテネ文庫

B 6 刊選六圓
各册 三〇圓

篠原正瑛 敗戦の彼岸にあるもの 一三〇圓

杉正俊 郷愁 記 一五〇圓

高山岩男 マルクシズムの超克 二〇〇圓

關根正雄 宗教革命の論理 一七〇圓

下村寅太郎 精神史の一隅 一七〇圓

長澤信壽譯註 プラトン「國家」 三三〇圓

長澤信壽譯註 「パルメニデース」 三五〇圓

一宮啓治・下村寅太郎 哲學とはなにか 200圓 送30圓

一宮啓治・下村寅太郎 科學とはなにか 豫220圓 送30圓

一宮啓治・猪木正道 社會主義とはなにか 豫220圓 送30圓

一宮啓治・西澤富夫 哲學とはなにか 200圓 送30圓

一宮啓治・高島善哉 科學とはなにか 豫220圓 送30圓

一宮啓治・高島善哉 社會主義とはなにか 豫220圓 送30圓

大正五年四月六日 記和二十五年一月廿五日印刷納本(毎月一回)
 第三種郵便物認可 昭和二十五年二月一日發行(一日發行)

哲學研究 第三百九十號

定價 金四十五圓 (地方賣價四十七圓)